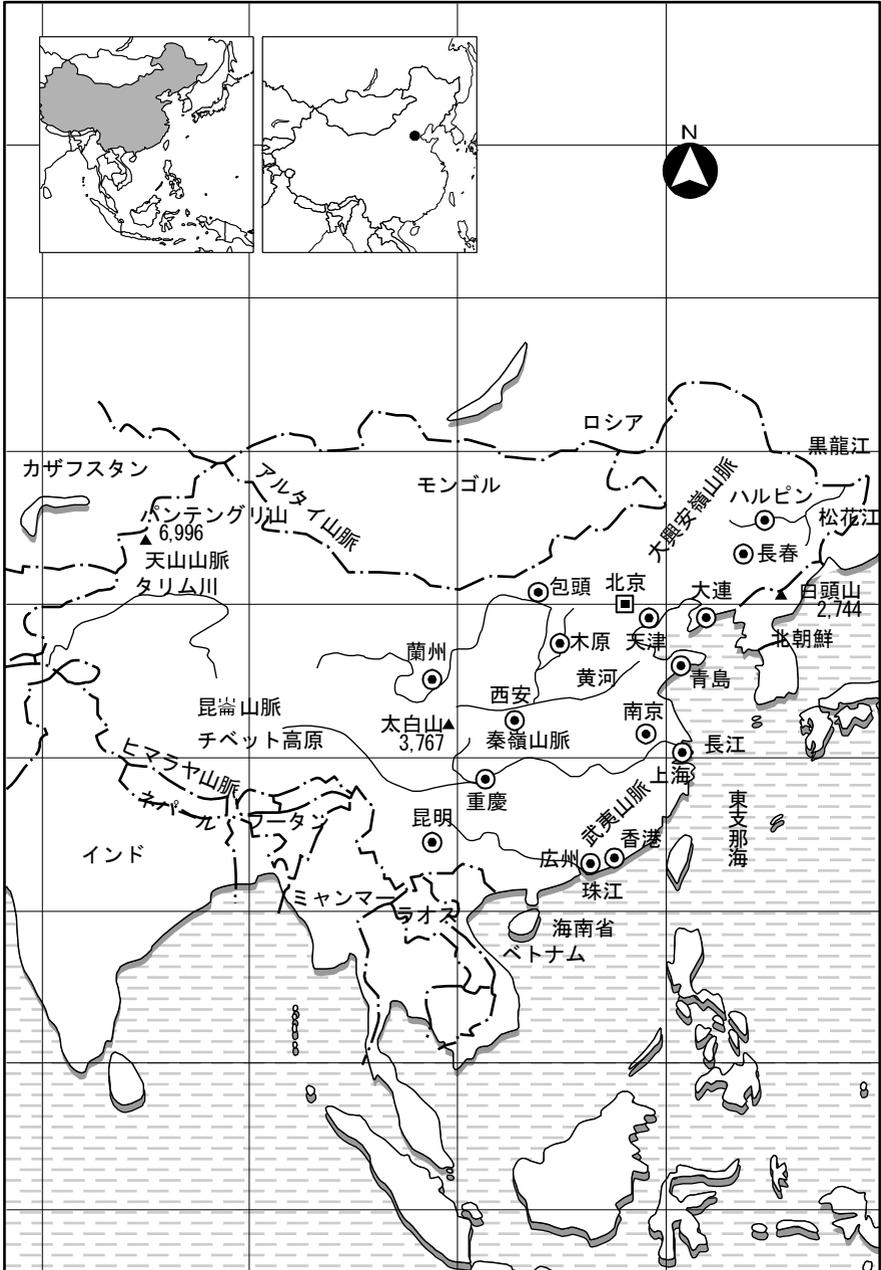


# 中華人民共和国



## (一般指標)

国名 (英名)	中華人民共和国 (CHN : People's Republic of China)		
国土面積	万 ha	□95,970 (日本の25.4倍)	
人口	万人	135,360 人口密度 141人/km <sup>2</sup> (2012年)	
首都名(英名)	北京 (Beijing)		
首都人口	万人	922.8 (2008年)	
主要言語	中国語(普通語=北京語が標準語、その他各少数民族語等)		
宗教	仏教, 道教, イスラム教, キリスト教, 少数民族の宗教		
国連加盟年月	1945年10月 (1971年10月代表権交替)		
通貨単位	元 1米ドル=6.1044 (2013年7月)		
国民総所得 : GNI	億米 <sup>F</sup> <sub>ル</sub>	57,208 (2010年)	
一人当りGNI	米 <sup>F</sup> <sub>ル</sub>	4,270 (2010年)	
主要産業	農業 (米、小麦等)、製造業、天然資源		
日本から輸出	億円	129,022 (2011年) (一般機械、電気機器等)	
日本の輸入	億円	146,420 (2011年) (電気機器、一般機械、衣料品等)	
土地利用	万ha	耕地	12,432 (13.3%) (2009年現在)
		森林	20,410 (21.9%) (2009年現在)
		牧場・牧草地	40,000 (42.9%) (2009年現在)
度量衡	メートル法、現地単位も使われる。 例 : 1ha=15mu (畝)		
祝祭日	1月1日元旦、3月8日国際婦女節、5月1日メーデー、 10月1日國慶節、陰暦1月1日春節、15日元宵節、4月 5日清明節、5月5日端午節、8月15日中秋節、12月 30日除夕 (大晦日) 他		
気候	熱帯モンスーン気候 Am (海南島等)、温帯夏雨気候 Cw (雲南省等)、温暖湿潤気候 Cfa (華南東部等)、ステッ プ気候 (黄河中流域)、冷帯気候 Dwa (北京周辺等)、砂 漠気候 BW (ゴビ砂漠) 等を含んでいる。 北京 平均気温 12.3℃、年降水量 575mm 上海 平均気温 16.1℃、年降水量 1,155mm		

(森林の指標)

(森林面積)

森林面積 (2010)	千 ha	206,861
森林率	%	21.6
森林変動率 (2005-2010)	%	1.4

(森林蓄積)

森林蓄積(2010)	百万 m <sup>3</sup>	14,684
ha 当たり森林蓄積	m <sup>3</sup>	71

(人工林面積)

人工林面積 (2010)	千 ha	77,157
森林面積に対する割合	%	37.0

(森林所有者)

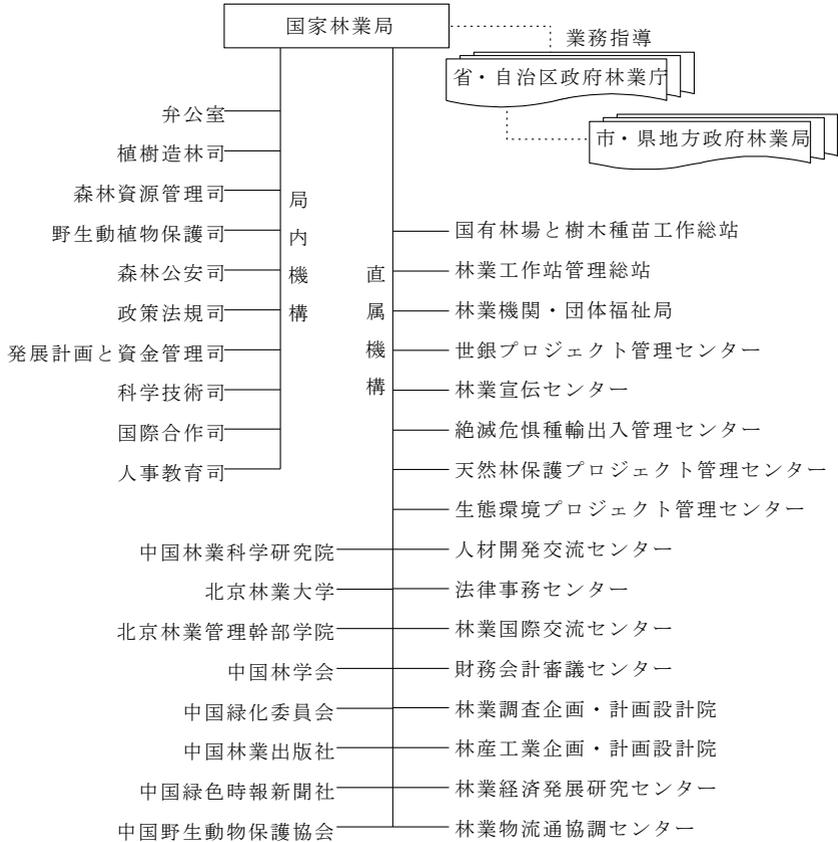
公的機関	%	68.0
民間	%	32.0

(炭素蓄積)

炭素蓄積 (2010)	百万トン	6,203
年平均炭素蓄積変化 (2005-2010)	千トン/年	80

(森林・林業行政組織)

中国では森林・林業行政を担っているのは国務院に属する国家林業局です。各省(自治区、特別市)には林業庁(局)が、各市・各県には林業局が設置され、当該地域の林業行政を統括している。国家林業局の組織は以下のとおりである。



(森林・林業政策)

中国の林業政策では、1984年9月20日第6期全国人民代表大会で改訂された森林法が基本になっている。それによると、森林資源を保護し、育成し、また合理的に利用し、国土の緑化を促進し、森林のもつ役割(貯水、土壌保全、気候調節、環境改善、林産物提供)を発揮し、社会主義建設と人民の生活の向上に応えることとしている。

この森林法に基づいた各種の林業施策が展開された結果、造林と木材加工生産が著しく増大したのをはじめ、林業研究、林業協同経営も推進され、林業は総合的にみて著しく発展を遂げてきている。また、林業施策の中で注目されるのは、皆伐を厳しく抑制するとともに、伐採した場合、当年または翌年までに更新を完了させることを決めていること、保安林については、保育または更新的性格の伐採以外は厳禁していることである。

その後、森林法は1998年4月29日の第9期全国人民代表大会で再度改定された。主な改正内容は、市場経済や体制改革などによる社会背景の改変に順応し、森林資源保護と植林を促進することを第一義にし、森林や造林地の所有権、使用権の明確化、林業用地の確保、木材の節約かつ効率的利用、森林生態公益補償基金の設立、森林伐採の厳格制限などである。

2000年には国務院より、森林法实施条例が公表され、持続可能な森林経営、森林保護、植樹造林、森林伐採などについての細則が実施された。この時期から、天然林保護事業や退耕還林事業などの森林保護及び植林に関する国家プロジェクトが次々と実行されている。

国家林業局が1998年11月12日に発表した「森林整備の強化による生態環境建設の発展」によると、1998年以降の林業政策の基本点は三つある。一つは生態環境改善に資するための森林・林業整備を強化すること。二つは経済成長と国民生活向上の要求を満たせる林業へ強化すること。三つは山岳地帯や砂漠化地域の貧困改善に貢献できる林業活動を強化すること。これらの方針を実現されるにあたり、①防護林造成事業を加速させること。②天然林保護事業を全国に広げること。③退耕還林事業を確実に推進させること。④商品化森林の整備を強化すること。⑤薪炭林造成を重視すると共に薪炭材を主とする木材消費の節減を強化すること。⑥森林・林業の法治を強化することを主な措置として講じている。

この政策に基づいて、中国政府はそれまでの林業プロジェクトに新たに強化すべき分野を加え、「六大林業重点プロジェクト」に整理・統合した。

なお、1987年以降の主要な政策の基本となる法令、通達等を掲げると次のとおりである。

1987年：「野生動物保護法」、「森林防火条例」制定

1988年：森林事業、生産責任制から経営責任制（請負方式）への移行

- 1989年：「全国造林緑化計画要綱」樹立（「三北防護林建設計画」、「長江中上流域防護林建設計画」、「沿海防護林建設計画」、「太行山緑化計画」、「平原緑化計画」等の促進）  
：「全民植樹義務と国営企業造林緑化資金の利用管理」に関する通達  
：「林木伐採許可証の管理強化」に関する通達
- 1991年：「水土保持法」制定
- 1993年：「水土保持法実施条例」制定  
「全国治砂工事企画要綱」（砂漠化防止対策要綱）制定  
「農林特産税税率の調整」に関する通達  
「造林緑化推進」に関する通達
- 1994年：「生物多様性行動計画」決定
- 1995年：「林地使用許可証制度実行」に関する通達  
「21世紀中国林業アクションプラン」決定  
「遼河流域総合整備防護林建設工事全般計画」、「淮河太湖流域総合整備防護林建設工事全般計画」、「珠江流域総合整備防護林建設工事全般計画」と「黄河中流防護林工事全般計画」編制決定
- 1996年：「中華人民共和国野生植物保護条例」制定  
「森林、林木と林地の権利所属管理の更なる強化」に関する通達
- 1997年：「東北・内モンゴ国有林区国有林業局の林地管理強化」決定  
「育林基金の管理強化」に関する通達  
「森林伐採量制限額の管理強化」に関する通達
- 1998年：「森林資源の保護並びに森林地開拓と林地無断占用の制止」に関する通達  
「天然林（国有林）保護プロジェクト」が四川省で先ず発足し、後に全国範囲で実施
- 1999年：「全国生態環境建設計画」の策定を國務院承認  
「天然林保護プロジェクトの戦略的重大調整」の決定（範疇、対象、期間の拡大）
- 2000年：「森林法実施条例」、「林業第10次5ヵ年計画」公布；退耕還林プロジェクト試行
- 2001年：これまでの一連の林業関連国家事業を「六大林業重点プロジェクト」にま

とめて実行。

- 2002年：ヨハネスブルグ・サミット（WSSD）の開催を契機に、木材生産を主とする政策から生態建設を主とする政策へ歴史的な、かつ必然的な転回が完了。
- 2003年：中国共産党中央委員会・國務院による「林業発展の促進に関する決定」が公布される。
- 2004年：国家林業局が、新たな局面を迎えた林業を如何に迅速かつ健全に発展させるかを模索するため、大規模な全国調査を行い、報告書をまとめた。
- 2005年：曾培炎副総理から、環境保全における中国の5措置を発表、その一つは生態整備を強化すること。
- 2006年：この年は11回目の5ヵ年計画の始まりの年であり、政策面では、林権改革が首位課題となった。とりわけ、「集体林」林権改革（これまでの県、郷、村などの集団所有林を農家に最大70年の期間で使用権を貸し出す制度）が試験区域で成果を上げ、全国で大々的に推し進められた。
- 2007年：温家宝総理の直接指示のもと、「集体林」林権改革に力を入れ進めながら、試験的な国有林林権改革をも肯定し、国有林重点地域である東北地域で森林資源管理体制改組、全国範囲で国有林場の試験的改革を始めた。
- 2008年：國務院から「全面的に集体林権制度改革の推進に関する意見」を公布して、完成にとりかかった。一方この年、南方地域では史上稀にみる低温雨と雪の被害に見舞われたり、四川大地震の被害で遭ったりと自然災害で多くの森林資源を失った。また、リーマン・ショックによる林業への打撃も大きく、厳しい試練の年であった。
- 2009年：胡錦濤国家主席がCOP15において、「2020年まで森林面積を2005年より4000万haを増加させ、森林蓄積を2005年より13億立方メートルを増加させる」公表した。これにさきがけ、中央が初めて「林業業務会議」を開き、明確に林業改革発展を支持する意思表明をし、林業プロジェクトへの中央財政支援を大幅に増額した。退耕還林における人工造林中央補助金を1ムー（15ムー＝1ha）当たり100元から200元（灌木林の場合120元）に引き上げた。
- 2010年：林業生態建設において政策的なバックアップが顕著な年であった。注目事項は天然林資源保護プロジェクト第2期の実施決定で、森林保育管理補助

金、林業地域社会保険助成金、政策性社会性補助金、公益林造成投資補助金、森林育成・経営補助金など多岐にわたって中央から補助金を助成した。

2011年：この年は12回目の5ヵ年計画の初年度であり、中国が発起人になって第一回APCC林業大臣級会議を開催した。これからの5年間は全面的に現代化林業建設を推進する「戦略転換期」と「黄金発展期」に位置付けている。

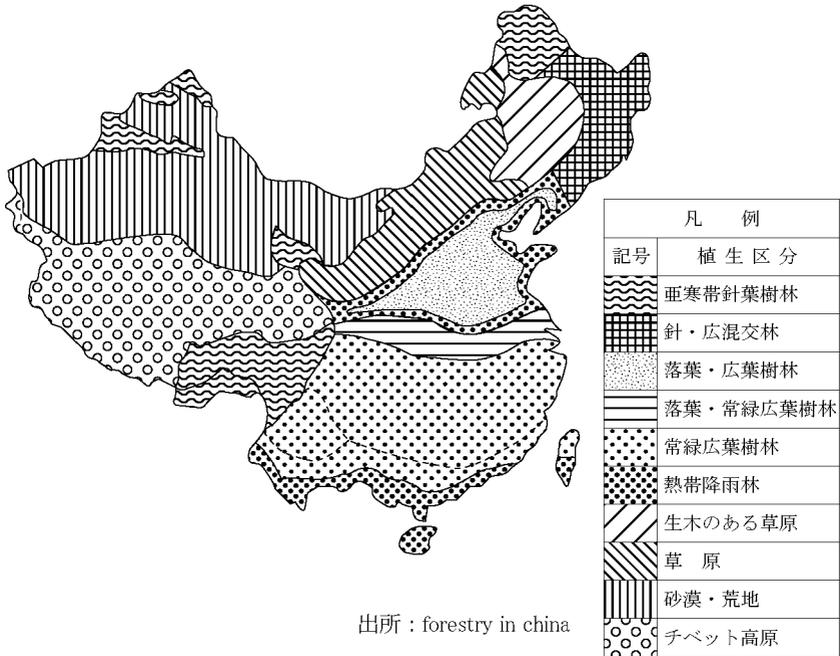
なお、我が国はプロジェクト技術協力として黄土高原治山技術訓練計画（1990～1995年）、福建省林業普及計画（1992～1997年）、寧夏森林保護計画（1994～1999年）、黒竜江省木材総合利用研究計画（1984～1989年；1995～1997年）、湖北省林木育種計画（1996年～2001年）、人工林木材研究計画（2000年～2005年）、四川省モデル林造計画（2000年～2007年）、四川省安寧河流域造林計画（2001年～2003年）、林業生態研修センター計画（2004年～2009年）、四川省震災後森林植生復旧計画（2010～2015）、西部林業人材育成計画（2010～2014）、黄土高原林業新技術推進普及（2011～2015）を実施しているほか、無償資金協力として大興安嶺森林火災復興用機材の供与（1988年）と漢江上流水土保持林造成機材の供与（1998年）、黄河中流保全林造成計画（寧夏：2001年～2005年；山西：2002年～2007年）を実施し、中国の林業発展に寄与している。以上のほか、小瀏基金による造林が中国各地でNGOにより実施されている。

#### （森林の現況）

中国は東西、南北に広大であるため、森林植生も多彩である。すなわち、大興安嶺、黒竜江省、内蒙古自治区の北方地域および天山、アルタイ山、新疆自治区等の西方高地、並びに南西高地には亜寒帯針葉樹林が分布し、小興安嶺、長白山、黒竜江省と、吉林省南部には針広混交林が分布している。また、遼東半島、河北省、山西省、山東省、河南省、陝西省にかけて落葉広葉樹林地帯が広がり、淮河流域から陝西省と甘粛省の南部に至るベルト状地域には、落葉・常緑広葉混交林が分布している。さらに、長江流域および珠江流域には広範にわたって常緑広葉樹林が広がり、福建省、雲南省、広西自治区南部および海南島は熱帯降雨林が分布している。

このように、中国の森林植生は亜寒帯林から熱帯林まで分布し、省別の森林被覆率

(分布) も大きな差があり、また、構成する主要樹種 (木材として利用されているもの) だけでも 320 種以上を数えていて、簡潔に説明することは極めて難しい。



中国の森林植生図

省別森林（灌木林を除く）面積【1999～2002年の調査結果】

単位：万 ha、%

地区	省(市) (自治区)	国土面積	森林面積	森林被覆率
華北	北京	168	37	18.4
	天津	113	9	7.9
	河北	1,900	311	16.3
	山西	1,560	206	13.2
	内モンゴ	11,830	1,616	13.6
東北	遼寧	1,457	464	31.8
	吉林	1,870	719	38.4
	黒竜江	4,690	1,797	38.3
華東	上海	60	1.89	3.1
	江蘇	1,026	77	7.5
	浙江	1,018	553	51.2
	安徽	1,390	331	23.8
	福建	1,200	764	63.6
	江西	1,666	930	55.8
	山東	1,530	204	13.3
中南	河南	1,670	270	16.1
	湖北	1,874	497	26.5
	湖南	2,100	860	40.9
	広東	1,860	660	35.5
	広西	2,363	981	41.5
	海南	340	166	48.8
西南	重慶	823	183	22.2
	四川	5,700	1,234	21.6
	貴州	1,700	420	24.7
	雲南	3,940	1,501	38.1
	チベット	12,200	845	6.9
西北	陝西	2,050	636	31.0
	甘肅	4,500	220	4.9
	青海	7,200	34	4.7
	寧夏	664	14	2.1
	新疆	16,000	180	1.1
全国計		95,641	17,490	18.2

出所：中国林業出版社「中国森林資源（2005年）」

FRA2010によれば、2010年現在の中国の森林面積は2億686万haであり、国土

面積の 21.6%が森林である。そのうち、原生林は 1,163 万 ha であり、森林面積の 6%に過ぎない。1990 年から 2010 年までに森林面積は 4,972 万 ha 増加しており、年平均では 249 万 ha、年率では 1.6%の割合で増加している。

(人工造林)

中国の本格的人工造林は、1950 年代に始まり、ほぼ年を追うごとに拡大してきている。中国では、人工造林の区分を用材林（薪炭林を含む）、防護林、経済林（果実林、油料林、薬用樹等）、特殊林（学術林、保護林、演習林等）に区分している。人工造林実績は、次のとおり推移してきた。

造林実績の推移

単位：造林面積万 ha、構成比%

年次	造林面積	構 成 比			
		用材林	経済林	防護林	その他
1953	111.3	40.2	1.2	37.5	21.1
1957	435.5	39.8	31.0	22.8	6.4
1964	291.1	47.8	28.3	15.0	8.9
1975	497.4	73.4	10.7	8.6	7.3
1980	455.2	64.3	18.1	11.3	6.3
1983	632.4	60.2	17.4	13.0	9.4
1988	553.3	59.7	16.5	14.9	8.9
1991	559.5	59.8	12.0	22.2	6.0
1992	603.0	55.6	16.1	23.9	4.4
1993	590.3	47.6	26.4	22.3	3.7
1994	599.3	41.8	34.5	20.9	2.8
1995	521.5	35.6	38.0	23.2	3.3
1996	491.9	34.8	34.0	27.8	3.4
1997	435.5	33.4	31.3	31.2	4.1
1998	481.1	30.5	29.1	37.0	3.4
1999	490.1	28.9	28.6	39.8	2.7
2000	510.5	23.9	26.4	47.6	2.1
2001	495.3	18.3	21.6	58.8	1.3
2002	777.1	11.6	12.4	75.0	1.0
2003	911.9	12.9	8.7	77.7	0.7
2004	559.8	15.5	8.1	75.2	1.2
2005	363.7	16.7	9.3	73.3	0.7
2006	383.8	12.5	10.5	76.6	0.4
2007	390.7	15.6	12.2	71.4	0.8

2008	535.3	14.6	15.9	69.1	0.4
2009	626.2	12.8	16.0	70.4	0.8
2010	590.9	13.7	18.8	65.7	1.8
2011	599.6	17.0	20.3	61.5	1.2

出所：中国林業年鑑及び中国林業発展報告（2012）

中国における主要造林樹種をあげると、次の樹種があげられる。

- ・ *Cunninghamia lanceolata* (杉木) …………… スギ科
- ・ *Pinus massoniana* (馬尾松) …………… マツ科
- ・ *P. densiflora* (赤松) …………… マツ科
- ・ *P. sylvestris* (障子松) …………… マツ科
- ・ *P. fenzeliana* (海南五針松) …………… マツ科
- ・ *P. koraiensis* (紅松) …………… マツ科
- ・ *P. caribaea* …………… マツ科
- ・ *Larix olgensis* (長白落葉松) …………… マツ科
- ・ *Camptotheca acuminata* …………… オオギリ科
- ・ *Sassafras* spp. (擦木) …………… クスノキ科
- ・ *Casuarina equisetifolia* (木麻黄) …………… モクマオウ科
- ・ *Acacia confusa* (相思樹) …………… マメ科
- ・ *Eucalyptus exserta* (窿縁桉) …………… フトモモ科
- ・ *E. citriodora* (檸檬桉) …………… フトモモ科
- ・ *E. globulus* (藍桉) …………… フトモモ科
- ・ *E. robusta* (大葉桉) …………… フトモモ科
- ・ *E. botryoides* (葡萄桉) …………… フトモモ科
- ・ *E. camaldulensis* (赤桉) …………… フトモモ科
- ・ *E. maidenii* (直幹桉) …………… フトモモ科
- ・ *E. viminalis* (多枝桉) …………… フトモモ科
- ・ *Populus* spp. (毛白楊) …………… ヤナギ科

注：( ) は中国名である。

FRA2010によれば、2010年現在の人工林面積は7,716万haであり、人工林率は37%である。なお、最近5年間では人工林面積は994万ha増加している。年平均では200万haの増加である。

(天然林施業)

多種多様な森林が分布している中国では、天然林施業として体系的にまとめられたものは一部の樹種に限られている。そこで、その中で中国南部で最も広く分布し、最

重要樹種の一つである *Pinus massoniana* (馬尾松) 林の天然更新法の概要について述べる。

馬尾松の主伐林齢は 30～50 年と幅がある。伐採方法は、跡地更新と水土保持を第一に考えて択伐、小面積皆伐、大面積皆伐の何れかによっている。このうち択伐方式についてみると、天然更新を成功させるためには、前生稚幼樹が 15m<sup>2</sup> 当り 130 本以上発生していることが必要とされている。また、主伐に先立って 50～80% の受光伐を実施するのがよいとされている。さらに、馬尾松は他樹種と混交すると生育がよいとされ、クヌギ、コウヨウザンなどと混交させる。コウヨウザンとの混交は、広葉樹の混交と違って、土壤肥沃度を高めることはないが、馬尾松は深根性、コウヨウザンは浅根性のため競合が少ないうえ、馬尾松の深根によって土壤の理化学性が改良されるという。

#### (林産業)

中国の木材産業は、国有林、各省・自治区が、毎年決定される伐採量に基づいて実施する政府計画にかかる木材生産量と、これ以外の膨大な量の自家用燃材等の生産がある。

集団等が所有森林から自家用燃材等を伐採する場合は、一定限度まで自由であり、さらに承認を受ければそれを超える伐採が可能である。

したがって、生産数量の全貌は必ずしも明確に把握することはできないが、輸入量は、木材生産量に対する割合は小さいが、産業用材に限ればその占める割合は少なく、増加傾向にある。

木材加工業については、1980 年に中央林業部の系統下に 209 の製材工場、244 の木質パネル工場（合板工場 44、繊維板工場 175、パーティクルボード工場 25）があったが、これ以外にも各省・自治区の林業部の管理する木材加工工場があって、その後の実態の正確な把握は難しい。

木材加工業の大宗をなす製材工場についてみると、近代設備の切替と労働者の技能向上が積極的に行われており、1980 年の労働生産性は 0.5m<sup>3</sup>/人/日であったが、将来は 5～10m<sup>3</sup>/人/日に向上させることを目標にして近代化を進めている。

年木材消費量 (2012)

輸入量の推移

単位：万 m<sup>3</sup>

材名	数量	構成比(%)
建築	10221.2	23.67
製紙	12773.1	29.58
家具	6493.2	15.04
炭坑材	1019.3	2.36
農用と薪	3662.2	8.48
輸出	7788.3	18.03
その他	1219.6	2.82
計	43176.9	100.0

単位：万 m<sup>3</sup>

年次	原木	製材	単板	合板
1988	1068	39	2.5	135
1989	641	13	1.4	107
1990	419	25	0.6	138
1991	410	31	2.8	146
1992	467	97	24	159
1996	267	77	36	173
1997	447	133	56	149
1998	482	169	54	169
1999	1014	276	64	104
2000	1361	361	65	100
2001	1686	403	36	65
2002	2433	548	29	248
2003	2546	560	22	282
2004	2631	605	15	283
2005	2937	605	15	236
2006	3215	615	13	189
2007	3712	656	13	153
2008	2957	718	9	117
2009	2806	994	7	108
2010	3435	1481	11	115
2011	4233	2161	20	104

出所：中国林業年鑑・中国林業発展報告

原木生産量の推移と木材貿易量は以下の表のとおりである。

原木生産量の推移

単位：千 m<sup>3</sup>

年次	薪炭用	用 材				原木生産量 合計
		製材用、 単板用	パルプ用	その他	合計	
1985	170,826	53,885	6,610	34,050	94,545	265,371
1990	188,583	46,038	7,997	37,503	91,538	280,121
1995	204,092	56,523	7,297	37,810	101,630	305,722
2000	191,051	53,623	6,718	36,080	96,421	287,472
2006	203,513	52,227	6,678	35,760	94,665	298,178
2010	188,823	58,920	5,048	38,460	102,428	291,251

注：その他は杭、マッチ、ポスト、柵 など

木材貿易量（2010）

単位：数量万 m<sup>3</sup>、金額万ドル

製 品 名	輸 入		輸 出	
	数 量	金 額	数 量	金 額
丸 太	3,522.2	631,608.2	13.5	8,083.1
製 材	1,623.8	428,339.9	83.5	46,242.0
合 板	107.6	47,182.9	729.7	337,735.9

出典：黄勝澤、2013、中国の森林・林業